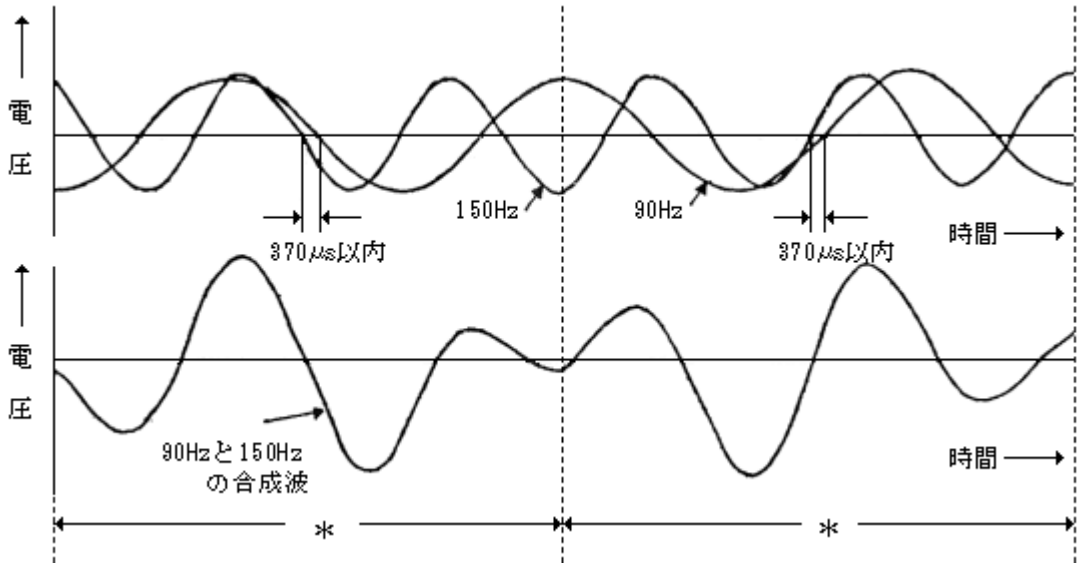
別図第十二号　変調信号の位相特性(第45条の12の7関係)



注　＊印：90Hzと150Hzの合成波の半サイクル

1　ローラカイザ

90Hzの位相と150Hzの位相は，半コース・セクタ内において90Hzと150Hzの合成波の半サイクルごとに,時間軸においてそれぞれ正傾斜又は負傾斜で370μs以内の差で合致することとなるものであること。

2　グライド・パス

90Hzの位相と150Hzの位相は，半ILSグライド・パス・セクタ(ILSグライド・パスを含む垂直面において，DDMの値が0.0875以下となる扇形状の区域であつて，ILSグライド・パスを含むものをいう。)内において90Hzと150Hzの合成波の半サイクルごとに，時間軸においてそれぞれ正傾斜又は負傾斜で370μs以内の差で合致することとなるものであること。